

都の風

MIYAKO NO KAZE

1
月号

2009年 No.16

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします。
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします。
- 職員の質の向上をはかります。



山本 照三郎様 96歳
生年月日／明治45年5月4日 北区在住



医療法人 社団 都会
理事長 渡辺 都美



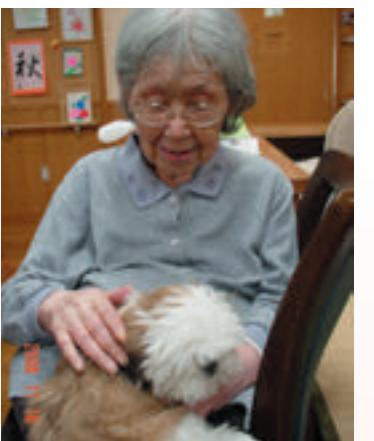
皆様、新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様に寄添い続けることが出来るよう毎年一歩ずつでも歩んで行くことを目標にしている私にとって、昨年は西賀茂診療所の移転や新規事業所の開設など、大きな歩幅の一歩を歩めたよう感じています。これもひとえに、地域の皆様や患者様、そして私と一緒に歩んでくれるスタッフのお蔭と心から感謝しております。新年を迎えた今、新しい建物(ハード)の中で、またこの場所から皆様のお宅に伺い、医療や介護を通じ今まで以上の寄添いができる様、こころ(ソフト)を大切に歩める一年にしたいと願っております。

遺伝子治療や移植医療など、最新の研究や技術を駆使し提供される医療を最先端の医療とネーミングされるならば、私たち都会メディカルケアシステムが提供する地域医療は皆様の一番近い場所でこころを大切に寄添い続ける最前線の医療や介護であると私は思っております。

どうか、本年も皆様の思いやこころを大切にした一步を歩むことが出来ます様お力添えをよろしくお願い致します。

No.15



とても人なつっこいです

名前はサッチャン。8月23日生まれの女の子です。
シーザーなので毛がフサフサしています。



ハッピー、ワン、しろ、もみじ…
色々な候補が挙がりました。
多数決でサッチャンに決定！



みんなで名前を決めました。

昔話に花を咲かせることは、
心身の健康につながります。

京都懐かし写真館



京都駅正面(昭和初期頃)



京都駅切符売場(昭和初期頃)

(写真提供:岡田梅寿堂、千本今出川北西角)



都の風通信

ほっこり庵に
子犬が来ました

「また来たい！」と言つてもらえるショートステイを目指して…

—ショートステイにしがも—

「医療福祉複合施設にしがも」の2階、ゆつたりとした空間が自慢の「ショートステイにしがも」を皆様にご紹介させていただきます。

介護者(家族)の視点から…



この建物の2階です。

ショートステイは、「短期入所生活介護(または短期入所療養介護)」といい、その多くは特別養護老人ホームなど施設の中のいくつかの部屋



ショートステイの目的は、介護者の用事や仕事、あるいは

は急病の為に介護できなくなつた時、家族に代わつて介護を提供することにあります。また、「ショートステイに行つてもらつて、少し休んだらまた頑張れる!」というように、介護者にとつて大切な休息。体だけでなく気持ちも、ゆっくり休んで欲しいのです。温泉旅行に行つて頂くのもいいかと思います。そう、ショートステイは介護者の休息の為にもあります。

「ショートステイにしがも」では、注入食や在宅酸素、点滴管理など医療依存度の高い方でも、できるだけお受けしていきたいと考えています。これはもちろん西賀茂診療所併設という強みがあるからですが、例えば奥様がご主人の胃ろう注入を毎日一生懸命されている在宅生活を見たとき、その「生活を支える」お手伝いを私たちにできないことはないと考へるからです。

今後、ショートステイの必要度はさらに高まると感じています。「ショートステイにしがも」を多くの方に利用して頂きたい気持ちでいっぱいですが、「お部屋9室の旅館」すぐに満室御礼となつてしまい多くの方に利用を待つて頂いているのが現状です。これからも「ショートステイにしがも」をどうぞよろしくお願ひ致します。

安心して

「ショートステイにしがも」では、

ると、おのずと私たちが何をすべきなのか、わかるような気がします。

心のこもつた贈り物



—床尾たねさんの 作るわらじ—

デイサービスセンターつるさんをご利用されている床尾たねさん(96歳)は、わらじのお守りを作る名人です。

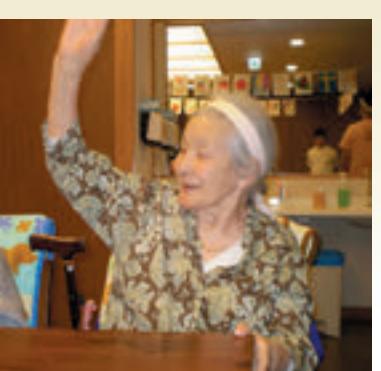
コツコツ作つてスタッフや親しい利用者さんに足のお守りとしてプレゼントしています。



注入食や在宅酸素、点滴管理など医療依存度の高い方でも、できるだけお受けしていきたいと考えています。これはもちろん西賀茂診療所併設という強みがあるからですが、例えば奥様がご主人の胃ろう注入を毎日一生懸命されている在宅生活を見たとき、その「生活を支える」お手伝いを私たちにできないことはないと考へるからです。

今後、ショートステイの必要度はさらに高まると感じています。「ショートステイにしがも」を多くの方に利用して頂きたい気持ちでいっぱいですが、「お部屋9室の旅館」すぐに満室御礼となつてしまい多くの方に利用を待つて頂いているのが現状です。これからも「ショートステイにしがも」をどうぞよろしくお願ひ致します。

管理者 橋口孝子・スタッフ一同



「みんなに喜んでもらえたらいいわと思って」と、笑顔でおっしゃっていました。

「ショートステイにしがも」つてどんよつと旅館みたいな、でも家みたいな感じですよ。」と尋ねられると、「ち

と、私たちスタッフは考えました。

「ショートステイにしがも」つてどんよつと旅館みたいな、でも家みたいな

な感じですか?と尋ねられると、「ち

と旅館みたいな、でも家みたいな

感じですよ。」と答えていました。「に

しがも」の部屋は全部で9部屋。すべて個室です。部屋にはそれぞれ色の名前が付いています。茜(あかね)、珊瑚(さんご)、藤(ふじ)、浅葱(あさぎ)、常盤(ときわ)、萌葱(もえぎ)、山吹(やまぶき)、菜の花(なのはな)、そして青磁(せいじ)。これは日本の古代から伝わる伝統色の名前です。和紙を使つて行燈風に各部屋のサインを作りました。カーテンの色もそれに合わせてしつらえました。利用者さんは色でお部屋を覚えていただけます。

今、施設介護は「ユニットケア」を推進しています。

ユニットケアとは単に少人数での介護を意味するのでありません。ユニッ

トケアは利用者一人一人の個性や生

活のリズムに

にその人の生活そのものなのだと気付きました。24時間生活シートを使つてアセスメントしながら、例えば夜間の排泄は家ではどうされているか、どうしてほしいのか等、個別のニーズを大切にしています。朝ごはんは何時

を食べたいか、何時頃食べたいか、等々。

これは認知症の方には家に帰つた時、混乱が少なくて特に良いよう

です。介護(ケア)は「してあげる」とい

うものではなく、「その方の生活に沿

う、生き方に寄り添う」ものと考えてみると、



ユニットケアとは単に少人数での介護を意味するのでありません。ユニッ

トケアは利

用者一人一人

の個性や生

活のリズムに

お茶のおけいこ

都会の福利厚生の一環として行われています茶道(裏千家)のお稽古についてご紹介します。

庄司先生、山本先生のご指導のもと、気軽に楽しくお茶の世界を味わつて頂くことが出来ます。また、お茶だけでなく日本の文化についても学ぶことが多いです。

『日常の忙しさを忘れ季節のお菓子を頂きながら、ほっこりとしたお茶の世界を是非味わつて下さい。』

続けて参加できなくとも、飛び入りでも歓迎です。 写真は着物でお稽古していますが、普段は洋服でしています。持参して頂く物も特にありません。

和やかな雰囲気で行われていますので、都会職員の方で、初心者の方もぜひお気軽にご参加下さい。

【日時】月2回・土曜日
18時30分～20時30分

【場所】研修センター
(旧都会本部)

【参加費】無料
詳細、お問い合わせは、
都会本部まで
(電)075-493-26200)



【日時】月2回・土曜日
18時30分～20時30分

【場所】研修センター
(旧都会本部)

【参加費】無料
詳細、お問い合わせは、
都会本部まで
(電)075-493-26200)



【日時】月2回・土曜日
18時30分～20時30分

【場所】研修センター
(旧都会本部)

【参加費】無料
詳細、お問い合わせは、
都会本部まで
(電)075-493-26200)